

旧波門崎燈籠堂について

1615～1661年築造。近畿で4番目に作られた灯台。

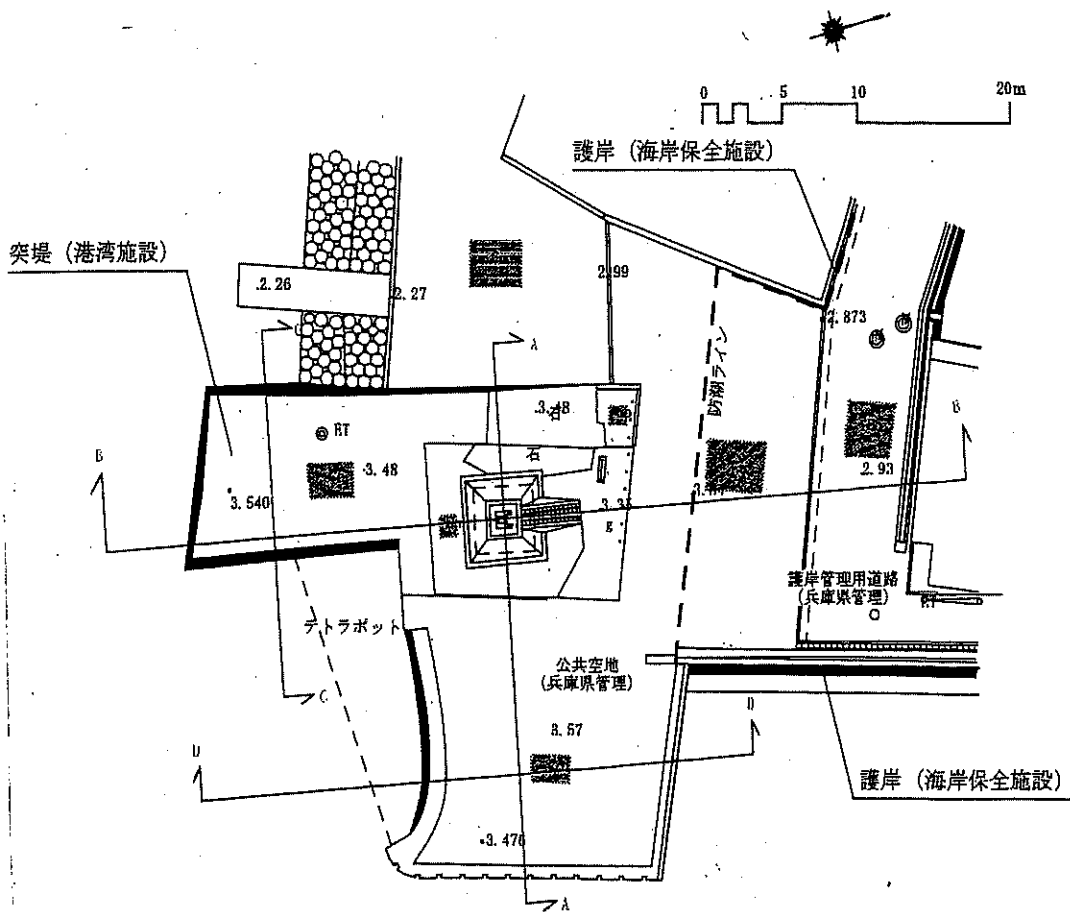
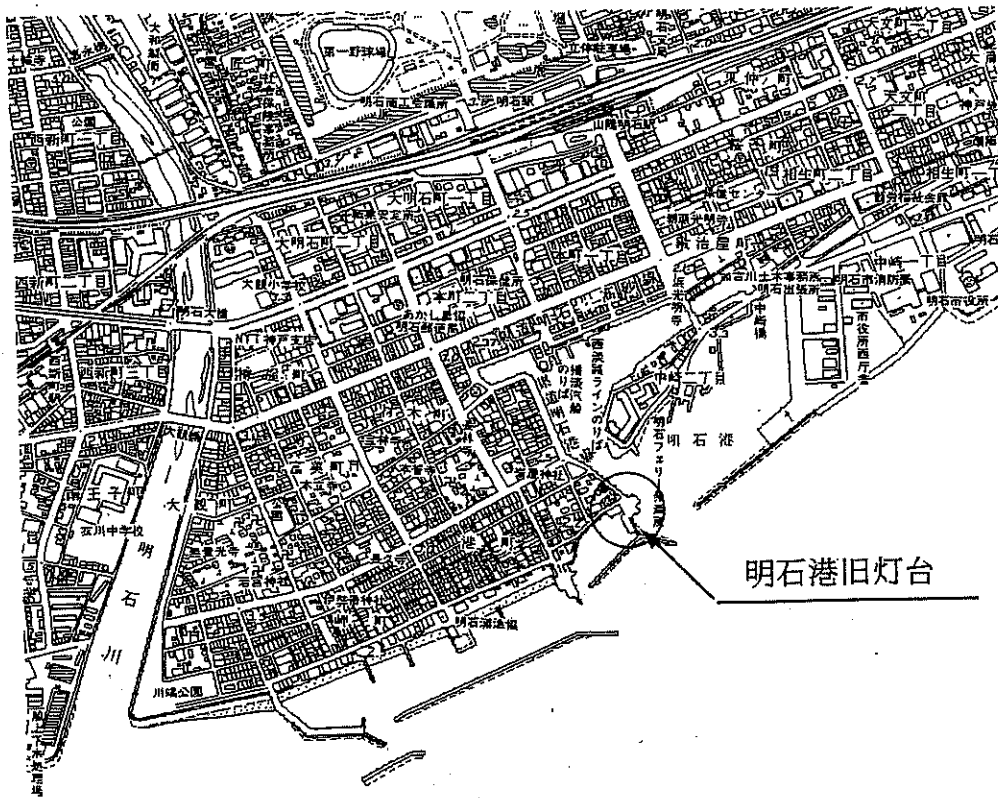
1953年改修

石造及び鉄筋コンクリート造、面積27㎡

明石港の南西隅に位置する。表面叩き仕上げの花崗岩を用い、隅角を算木積としながら層状に精緻に積み上げ、北面に階段を取り付けた石積躯体と、鉄筋コンクリート造の燈籠からなり、総高7.3mである。藩政時代から残る明石港のランドマーク。

歴史的経緯

- | | |
|-------------|--|
| 元和6年(1620) | 明石舟入掘削始まる(「播州明石記録」) |
| 寛永10年(1633) | 波門石壁築出す(「播州明石記録」) |
| 明暦3年(1657) | 燈籠堂設置(工部省1884) |
| 宝永2年(1705) | 波門崎の石垣を普請(「松平家記」) |
| 弘化2年(1845) | 燈籠堂改正(工部省1884) |
| 明治6年(1873) | 瓦斯になる(「明石名勝古事談」1927) |
| 明治16年(1883) | 石造部の正面上部、側面一部に白ペンキ塗り
(「明石名勝古事談」1927) |
| 明治17年(1884) | 「器械種類：ランプ一個、燈油種類：石油」(工部省1885)とあり |
| 昭和7年(1932) | 「白色下部石造上部擬土造四角燈籠形」(通信省1932)
火袋を木造からコンクリートに改築。政府公認の灯火を灯す |
| 昭和26年(1951) | 明石市から国(海上保安部)へ移管 |
| 昭和28年(1953) | 大改修 |
| 昭和38年(1963) | 灯台としての機能廃止 |
| 平成11年(1999) | 海上保安部から明石市へ譲渡 |
| 平成25年(2013) | 国登録有形文化財に登録 |





「明石名所写真帖」(宮内庁蔵) 1908



繪葉書「播州明石港」



繪葉書「明石港口實景」



絵葉書「明石港の入船」



明石港 旧燈台（昭和36年）



